

平成30年度 第2回大和市文化創造拠点運営審議会 会議要旨

1. 日 時 平成30年10月24日（水） 午後3時30分～午後5時00分
2. 場 所 文化創造拠点シリウス6階 601講習室
3. 出席状況 委 員 4名
事 務 局 5名（文化スポーツ部長、図書・学び交流課長、図書・学び交流課係長、ほか2名）
4. 傍 聴 人 なし
5. 次 第
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 市長挨拶
 - 4 委員紹介
 - 5 会長、職務代理の選出
 - 6 議題
 - （1）文化創造拠点等運営審議会について
 - （2）指定管理者の選定について
 - 7 その他
 - 8 閉会
6. 会議資料
 - 資料1：審議会概要説明
 - 資料2：各地区学習センター及び大和市立渋谷図書館指定管理者申込要項
 - 資料3：各地区学習センター及び大和市立渋谷図書館指定管理者候補者審査要領
7. 公開・非公開の状況
■公開 □非公開 □一部非公開

<会議要旨>

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
机上にて委嘱状の配布を行った。
- 3 市長挨拶
大木市長より挨拶を行った。
- 4 委員紹介
各委員が自己紹介を行った。

5 会長、職務代理の選出

会長、職務代理について事務局から説明を行った後、それぞれの選出を行った。

6 議題

事務局から説明を行った後、質疑応答を行った。主な内容は次のとおり。

(1) 文化創造拠点等運営審議会について

委員：平成30年度の予定の中で、2月に施設の運営状況、現地視察とあるが、次回の評価のために、シリウス、中央林間図書館、ポラリスの3施設を事前に見る、ということか。

事務局：そのように考えている。評価にあたっては書面や実績値の審査もあるが、現場も実際に見ていただきたいと考えている。

委員：現場を見ることは必要だと思う。
次回、11月の審議会では指定管理者の選定が予定されている。事前に資料をいただけるのか。

事務局：指定管理申込者からの申し込みに要した資料については、本日の議題(2)でご説明する。申込者から提出される企画提案書については、提出され次第お渡しする予定にしている。

(2) 指定管理者の選定について

委員：やまとみらいの信任投票のような雰囲気に対し少し危惧を感じた。各学習センターを利用しているが、職員の対応がシリウスと違うと感じる出来事があった。シリウスは対応がとても良い。その点は、地区館でも統一いただきたい。

事務局：職員の対応の悪さはお詫びする。指定管理化のねらいの一つでもある、一元的に運営をしていく、という点においては、サービスや接遇も含まれてくるし、職員がローテーションで複数館を回ることにも大きなスケールメリットが発揮されると思う。そういう中では委員ご指摘の信任投票的な面もあるが、そこは委員の皆様にしっかりと審査をしていただくということだと思う。

委員：指定管理者を指定する業務が、洗練され整ってきているという感じがする。審査要項や仕様書の内容に沿って審査対象を見ていけば、当然シリウスのがんばりもどこかにあらわれるかと思いながら聞いていた。

事務局：本市の指定管理者選考は、職員による選考委員会によるものが多いが、この文化創造拠点等運営審議会は、所掌事項として明確に指定管理者の選考を規定している唯一の第三者機関である。そういった点では、先駆的というか、洗練されたあり方だと思っている。

委員：審査は、3つの学習センターと渋谷図書館を一括で行うことになるのか。

事務局：今回、各施設の運営・事業の実施に関することの審査項目は、3つの学習センターと、渋谷図書館の二つに分けて採点をしていただくような項目だてをした。

委員：2種類に分けて審査をするということか。

事務局：審査自体は、4つの施設全部を一括している。

委 員 : これまでいろいろな指定管理者の選定にかかわってきたが、採点表は自治体それぞれ違いがある。当初よくあったのは、経費節減に関する項目に配点が多かったが、大和市は、基本的な考え方の項目に配点が多いというのが特徴だと思う。その基本的な方針を指定管理者が理解し、それに即した企画がでてくることを期待している。

事 務 局 : 経費については、もちろん指定管理者制度の一側面ではある。休館日を減らして市の職員で運営するには人件費が高騰するということで、シリウスも直営は困難だった。指定管理者制度の導入の大きな目的というのは、経費もそうだが、やはり専門的な民間のノウハウをどれだけ生かせるか、という点であるとの考えでこのような審査表とさせていただいた。なお、申込要項に上限額を示しているが、市の中で十分に精査をしたうえで設定したところである。

委 員 : これによって市職員の異動が発生するのか。

事 務 局 : 今回の指定管理化によって、現在配置されている正規職員6名、再任用職員5名はすべて異動になるが、一部、定年退職や再任用満了という職員もいる。全体の職員定数の中では、新規職員の採用人数で調整して対応していく。

7 その他

- ・今後のスケジュールについて、事務局から説明を行った。

8 閉会

以上